

平成 29 年度長野市観光振興計画の進捗及び指標達成状況について

1. 計画の目的及び評価の視点

(1) 長野市観光振興計画の目的

観光を通じて地域の魅力やそこにしかない資源を味わっていただき、長野市に何度も訪れてもらうリピーター＝「ながのファン」を創出・増加することが重要です。そこで本計画では、「ながのファン」創出・増加のための取組みを行い、その中で以下の 2 点についての実現を目指します。

①本市経済の活性化の実現

観光は経済活動です。訪れてもらうだけでなく、楽しんでもらいながら本市経済の活性化につなげる事業を実施します。

②地域コミュニティの活性化

観光客が訪れ、地域の人々と交流することは、ときには地域に希望や生きがいを生み出します。これまで観光客が訪れなかった地域にもスポットを当て、観光客と地域の交流を生み出す事業を実施します。

(2) 計画評価の意義と必要性

本計画では地域経済や地域コミュニティの活性化を目的に、観光振興のための様々な事業を実施します。そのためには、行政や観光関連組織だけでなく、民間事業者や地域住民も主体として活躍してもらう場面が多く出てくると考えられます。その際、多様な主体が共通認識を持って事業を行うことができるよう、計画を通じて目指す姿を指標化し、毎年度その達成状況を明確にしていきます。

前計画においては、事業を進める中で地域資源の磨き上げがある程度進んだ一方で、市内周遊する動きがあまり見られなかったなどの課題がありました。

そこで、本計画では、PDCAサイクルを毎年度回すことで、いずれの取組みも改善・改良して次につなげるようにしていきます。

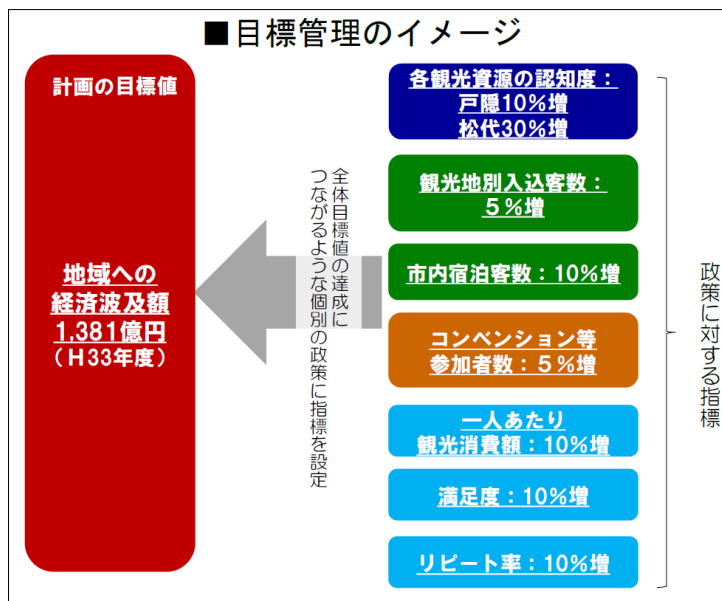
2. 評価の方法

本計画の体系は、「政策－施策－事業」の3階層となっています。政策にはKPI（重要目標達成指標）を設定しており、数値によって年度の達成状況を把握していきます。

施策、事業は、事業の年度ごとの実施状況を評価し、それらを総括した評価を施策評価とします。

事業評価では、年度別に取組んだ事業について、取組みの成果・課題を整理し、次年度以降継続する必要があるかどうかについても評価します。

また、各事業が最終的に目指す指標として、総合目標値を設定します。総合評価は、「ながのファン」の創出・増加に伴い、地域での消費活動の活発化を示す指標として「地域への経済波及額」を設定しています。



3. 事業評価

政策別に取り組んだ事業について評価を行います。評価は施策別を実施し、事業による成果や外部要因による事業への影響等について分析し、次年度以降の継続についても評価します。

(別紙「平成29年度長野市観光振興計画に基づく事業実績及び評価」参照)

4. 政策別KPIの進捗状況

政策1～4は、事業の取組みを踏まえて目指すべき指標（KPI）を設定しています。それぞれの政策で設定したKPIの進捗状況を把握し、施策・事業がどのような効果をもたらしているのか、あるいは改善が必要なのかを分析し、次年度以降の事業検討に活用していきます。

(1) 政策1：各観光地の認知度

(単位：%)

		基準値 (H27年度)	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
善光寺	目標値	94.5	-	-	横ばい	-	横ばい
	実績値	-	-	-	-	-	-
戸隠	目標値	79.3	-	-	85.0	-	90.0
	実績値	-	-	-	-	-	-
松代	目標値	50.6	-	-	70.0	-	80.0
	実績値	-	-	-	-	-	-
評価		評価は中間年度（H31年度）、最終年度（H33年度）に実施					

■ 目標値の算出方法：H27年度に実施した調査の結果、善光寺はすでに100%近い認知度を得ていることから、この認知度を維持していくことを目標とする。戸隠はH33年度に10%（中間年度は5%）、松代は30%（中間年度は15%）の増を目標とする。

(2) 政策2：観光入込客数

(単位：千人)

		基準値	H29 年度	H30 年度	H31 年度	H32 年度	H33 年度
全 市	目標値	17,008 (H27 御開帳) 10,018 (平常年)	10,100	10,200	10,300	10,400	17,900
	実績値	-	11,008				
善光寺	目標値	12,288 (H27 御開帳) 6,235 (平常年)	6,300	6,360	6,423	6,485	12,903
	実績値	-	6,653				
戸 隠	目標値	1,613	1,629	1,645	1,661	1,678	1,694
	実績値	-	1,496				
松 代	目標値	776	784	792	800	808	815
	実績値	-	659				
評価		<p>善光寺は順調に推移しており、目標値を上回っている。特に2月の入込みが前年よりも多くなっており、灯明まつりを始め、冬の観光コンテンツが定着していることがうかがえる。</p> <p>戸隠は目標に到達していない。基準値としている平成27年が式年大祭の開催年であること、例年入込客が落ち込む冬（1～3月）の低調に加え、紅葉シーズンの10月も前年の88%程度に留まっている。連休が雨など天候不順であったこともあり、敬遠したとも考えられる。ただし、満足度の指標では他地点よりは高く、質の伴った観光地としての取組みにより訪れた観光客の評価は高いといえる。</p> <p>松代は平成28年度にNHK大河ドラマ「真田丸」の放映があり、「真田大博覧会」を開催し、例年になく観光客が訪れた。その反動もあり、平成29年度は客足が伸びていないと考えられるが、大阪でのPRなど「アフター真田丸」に向けた取組みにより減少幅が最小限にとどまっている。</p> <p>なお、平成29年度は信州デスティネーションキャンペーンに伴い、本市でも関連事業を実施した（「麻衣と舞」「巡奏クラシック」「真田邸ライトアップ」）。</p> <p>善光寺・戸隠・松代の3地域でそれぞれ行い、文化施設を活用するなど、新しい楽しみ方を提案するイベントとなった。</p>					

■目標値の算出方法：平常年はH22年度からH26年度の平均値を使用。H29年度からH32年度は平常年の基準値をもとに毎年1%増、H33年度はH27年度から5%増を目標とする。

(3) 政策3：市内宿泊客数

(単位：千人、人)

		基準値 (H27年)	H29年	H30年	H31年	H32年	H33年
総宿泊数 (千人)	目標値	1,603 (H27御開帳) 1,400 (平常年)	1,428	1,456	1,484	1,512	1,763
	実績値	-	現在算出中				
外国人 (人)	目標値	※ ¹ 53,607	61,600	64,000	66,300	77,000	71,000
	実績値	-	※ ² 86,382				
評価		外国人の市内宿泊客数は、基準値及びH29の目標値を大きく上回っている。 台湾・タイを重点ターゲットに設定し、プロモーションを行った効果が現れていると考えられる。 今後も継続的に訪れる観光地となるよう、引き続きプロモーションを行っていくとともに、県内外の自治体と広域的に連携し、誘客・ツアー造成・コンテンツ開発・環境整備等を進めていく。					

※1…この数値はH27年度の実績値であり、観光振興計画に記載のある59,206人は計画策定時点の暫定値である。

※2…H29年度の外国人宿泊者数(実績値)は、暫定値である。

- 目標値の算出方法：(1) 総宿泊客数：平常年はH23年からH26年の平均値を使用。H29年からH32年は平常年の基準値をもとに毎年2%増、H33年はH27年から10%増を目標とする。
 (2) 外国人宿泊客数：H27年を基準値とし、H32年のみ基準値から30%増、それ以外は基準値から毎年4%増を目標とする。
 (3) いずれの数値も暦年にて算出

(4) 政策4：コンベンション等参加者数

(単位：人)

		基準値 (H27年度)	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
参加者数	目標値	115,537	-	-	-	-	120,000
	実績値	-	106,513				
評価		評価は最終年度(H33年度)に実施					

■目標値の算出方法：H33年度において、基準値(H27年度実績)の5%増を目標とする。

(5) 一人あたり観光消費額

(単位：円)

		基準値 (H27年度)	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
全 体	目標値	13,017	13,300	13,500	13,800	14,100	14,300
	実績値	-	13,866				
宿泊客	目標値	21,266	21,700	22,100	22,500	23,000	23,400
	実績値	-	22,307				
日帰り客	目標値	7,658	7,800	8,000	8,100	8,300	8,400
	実績値	-	6,812				
評価		観光客全体と宿泊客に関する一人あたり観光消費額は目標値を上回っている。 一方、日帰り客の観光消費額をみると、宿泊客と比較して電車代・バス代、お土産代が低い状況にあることから、それらが要因となり目標値を988円下回っているものと考えられる。					

■目標値の算出方法：対面調査の結果(H27年度実施)を基準値とし、毎年2%の増(H33年度において10%の増)を目標とする。

(6) 満足度(とても満足の割合)、リピート率

(単位：%)

満足度 (とても満足の割合)		基準値 (H27年度)	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
全 市	目標値	46.6	-	-	-	-	57.0
	実績値	-	39.7				
善光寺	目標値	43.1	-	-	-	-	53.0
	実績値	-	37.8				
戸 隠	目標値	54.3	-	-	-	-	65.0
	実績値	-	49.2				
松 代	目標値	43.1	-	-	-	-	53.0
	実績値	-	36.6				
リピート率		基準値	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
	目標値	56.0	-	-	-	-	66.0
	実績値	-	65.9				
評価		満足度(とても満足の割合)は、全市のほか3地点でも基準値を下回っていることから、目標値の達成に向けては現在実施している事業の改善など、更なる努力が必要となる。 なお、リピート率は概ね平成33年度の目標に到達している。					

■目標値の算出方法：(1) 満足度：来訪者調査(H27年度実施)の結果を基準値とし、H33年度において10%増を目標とする。

(2) リピート率：市外在住者で3回以上来訪経験を持つ者の割合について、10%増を目標とする。

(3) 満足度の質問項目は、1. とても満足 2. まあ満足 3. やや不満 4. とても不満の4項目

(7) 経済波及額

(単位：億円)

		基準値	H29 年度	H30 年度	H31 年度	H32 年度	H33 年度
	目標値	1,256 (H27 御開帳) 744 (平常年)	759	774	789	804	1,381
	実績値	-	918				
評価	<p>計画の目標値である、経済波及額は平成 29 年度目標を約 160 億円上回り、918 億円となっている。</p> <p>基準値として設定した、善光寺御開帳年を除く、過去 5 年間 (H22～H26) の平常年の観光入込客数 (10,018 千人) よりも、平成 29 年度の入込客数 (11,008 千人) が多いことが要因の一つとして考えられる。</p> <p>主要 3 地点以外の飯綱高原や川中島なども入込が伸びているため市全体でも底上げが図られていると考えられる。</p>						

- 目標値の算出方法：対面調査 (H27 年度実施) により、市内での観光消費額を算出。H27 年度の市内入込客数と、H22 年度から H26 年度の市内入込客数の平均値をそれぞれ用いて、H23 長野県版産業連関表をもとに算出。H29 年度から H32 年度は平常年の基準値をもとに毎年 2% 増、H33 年度は H27 年度から 10% 増を目標とする。